



〈表紙〉



町内のいたるところで、稲刈りの光景が見られる季節になりました。写真は、9月下旬の鶴吉地区の様子です。すくすくと育った稲穂に、実りの秋を感じました。

行ってこーかい 会ってこーかい

1

恵久美地区



松前町

獅子舞復活で地域をつなぐ

神の使いとして、人々に幸福をもたらすという獅子舞。恵久美地区では、住民が立ち上がり、半世紀近くも途絶えていた獅子舞を復活させた。後世にも伝えようと活動を続け、今年で8年目を迎えます。



昭和15年ごろまで秋祭りや青年団活動として演舞されていた獅子舞。その後、戦中戦後20年間途絶え、昭和35年から数年間復活したものの、継続はできませんでした。

平成8年、獅子舞を知る大政久男さん、篠崎繁秋さん（現在は故人）が高齢のため、今復活しなければ消滅してしまうという思いから、松崎区長（当時）たちが動き出しました。まず、組織作りについて壮年部にお願したものの、みこで手がいっぱいだったそうです。

「中止を考えたが今しかないと思った」

それからは有志10人で、復活に向けて獅子舞を知る2人からの聞き取りと練習を重ねました。

8月～10月、公民館で思い出しながら教えてもらう練習は、1日2時間、25回にも及びました。

そして平成12年の秋祭り。念願の獅子舞復活を果たしました。

平成13年からは子どもたちにも呼びかけ、練習を重ねました。

人のうごき

人口	31,488人	(+22)
男	15,038人	(+5)
女	16,450人	(+17)
世帯	12,653世帯	(+19)

住民基本台帳8月末日現在
()は前月比

発行/松前町
〒791-3192
愛媛県伊予郡松前町
大字筒井631
☎985-2111(代)

編集/広報編集委員会
印刷/岡田印刷株式会社
発行日/平成20年10月1日



この広報紙は、資源保護と環境に配慮して大豆インキ、再生紙、水なし印刷で作成しています。



こうして80歳の先輩から後輩へ、後輩から子どもたちへとしっかりと受けつがれてきた獅子舞。当時の子どもが社会人となり、今は指導者の立場として、練習に参加していました。

現在子ども11名、社会人2名。「お祭りで獅子舞を見てやりたいと思った」と練習に励む男の子。「最初は大変だったけど、できるようになったら楽しい」と笑顔で話す女の子。練習風景の中には、復活当時に撮影したビデオの映像をバックに練習に励む子どもたちと、彼らを見守る、獅子舞の復活を願ってやまなかった役員さんの笑顔。きつとずっと恵久美の獅子舞はつながっていくことでしょう。

担当者から

今月号から「広報まき」がリニューアルしました。いかがでしたか？今まで慣れ親しんだものが変わるといふことで、最初は読みにくいかもしれませんが、情報は探しやすいように工夫しました。また、真ん中ページのカレンダーは、壁や冷蔵庫に貼って利用していただくと嬉しいですよ。

これから見やすく、親しみやすい広報紙をお届けできるようがんばります。なお、広報まきをご感想を、ぜひお聞かせください。

総務課広報情報管理係まで
☎985-4132

合併処理浄化槽で
きれいな川を
子供たちへ

浄化槽のことなら申請・工事・保守点検まで

(有)環境管理研究所

本社/松山市三町1丁目4-33
営業所/伊予郡松前町東古島406-3
☎976-0808